

## 2025年度 二次募集専門科目試験問題の出題意図

【入試種別】 博士課程（二次募集）

【問題1】 医療薬学領域

【出題の意図・評価ポイント等】

大学院で薬学を学ぶにあたって必要となる基礎知識や専門知識の修得状況を確認することが出題の目的である。患者数の増加に伴い近年注目されている慢性閉塞性肺疾患（COPD）を取り上げ、生理学的な呼吸機能、COPDの病態生理、COPD治療薬の薬理作用およびその作用機序などを理解できているかを問うている。また、大学院では最新の情報を収集する能力が必要不可欠となるため、最新の知見を調査できているかについても問うている。

【問題2】 薬学臨床領域

【出題の意図・評価ポイント等】

臨床領域における研究を志す受験生にとって、知っておくべき我が国の医療に関する問題点の1つとして小児用医薬品を取り上げた。臨床領域の大学院受験生として、幅広い視野・知識を有しているかを確認するために、昨今話題となっている内容について出題した。

【問題3】 生物・予防薬学領域

【出題の意図・評価ポイント等】

生物・予防薬学領域の専門知識の習熟度を問う。ヌクレオチド合成、糖化、食中毒という重要概念を論理的に説明できる能力を評価する。

【問題4】 創薬化学領域

【出題の意図・評価ポイント等】

問1

熱力学第一法則に関する計算問題により、熱力学における基礎知識の理解度を測る。

問2

反応次数と速度定数に関する計算問題により、化学反応速度論における基礎知識の理解度を測る。

問3

モルギブズエネルギーと温度の関係、希薄溶液の束一的性質に関する基礎知識の理解度を測る。